

会議名 (審議会等名)		第3回川西市水道事業経営審議会		
事務局 (担当課)		水道局	総務課	内線(3632)
開催日時		21年2月23日(月)18時00分～19時00分		
開催場所		川西市役所4階庁議室		
出席者	委員	藤井 秀樹、木本 圭一、吉田 忠彦、草野 真樹 秋田 修一、戸根 恵子、中村 清秀、松坂 久美子、山崎 素八子		
	その他			
	事務局	西水道事業管理者、田崎局長、小谷口次長、坂本次長、富永次長、辻総務課長、溝上営業課長、田中工務課長、今中浄水課長、畠中工務課主幹、横田工務課主幹、肥爪工務課課長補佐、岡本総務課課長補佐、増田総務課主査、薄波主任		
傍聴の可否		可・不可・一部不可	傍聴者数	—
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 会議の傍聴について 3 議 事 (1) 第2回・第3回 部会審議の報告 (2) 答申書(案)について 4 答 申 5 市長あいさつ 6 閉 会		
会議結果		別紙審議経過のとおり。		

審 議 経 過

1. 開会

2. 会議の傍聴について

3. 議事

「第2回・第3回 部会審議の報告と答申書（案）について」

（部会長より報告）

○部会審議の内容

- ・ 第2回部会では、第2回審議会で出された論点（将来の需要見通し、収支見通し、安全で安定した水の供給のために実施すべき施策の優先順位、体制）を受けて、その詳細を論じた。
- ・ 第3回では、答申書（案）の内容について議論した結果、審議会で出された大きな論点を網羅的に組み込むとともに、その問題点について指摘するものとした。

○答申書（案）の内容について

- ・ 「安全な水道水を安定して送り続けるために信頼されるライフラインを目指して」という基本理念で事業を進めるべきである。
- ・ 必要な施策を、優先順位を決めて進めていくべきである。
- ・ 人員の適切な配置と人材育成という問題が、安定した供給に不可欠であるという審議会での指摘を受け、部会でも大きく議論したので、これについては、人材の育成活用という一つの項目立てが必要である。
- ・ 川西市水道ビジョンの計画期間は9年であるが、5年後に具体的な収支計画を含めて、再検討を行っていくことが必要である。

《会長》ご報告、どうもありがとうございました。

先ほどの答申書（案）については、第3回部会で作成の後、あらかじめ、事務局より使用者等の代表5名の委員の皆さまにご覧いただいておりますが、改めて委員の皆さま、この答申書（案）に関して、ご意見、ご異議等はございませんでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

《会長》ご異議がないようですので、これを以て答申書としたいと思います。

それでは、市長に答申書をお渡しする前に、西水道事業管理者より、ご挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

（ 水道事業管理者あいさつ ）

《会長》どうもありがとうございました。

《司会者》それでは、早速ではございますが、藤井会長から大塩市長へ、答申書をお渡しいたきますようよろしくお願いいたします。

《会長》昨年の12月4日に市長から諮問を受けまして、川西市水道事業の将来のあるべき姿について、9名の委員により、慎重に審議を重ね、検討しました結果を、ここに答申いたします。

今後の水道事業の運営にあたっては、この答申書の趣旨を十分尊重され、「川西市水道ビジョン」に反映いただくとともに、基本理念に基づく施策の確実な実現に向けた取り組み、健全なる経営に一層邁進されることを強く期待します。

（ 答申書受け渡し ）

《市長》ありがとうございます。

《会長》それでは、大塩市長から答申にあたりまして、ごあいさつをいただきたいと思っております。よろしく願います。

（ 市長あいさつ ）

《会長》ありがとうございました。

委員の皆さまにおかれましては、約3ヶ月にわたりまして、審議会並びに部会にご出席賜り、貴重なご意見と熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。先ほど、市長へ手渡ししました答申書の趣旨をご理解いただき、川西市水道事業が、我々や川西市民が期待する事業運営をしていただければ、幸甚です。

これを持ちまして、当審議会を閉会いたします。皆さまどうもありがとうございました。

※ 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。